

延島つよ

延島小学校長 田村芳広



今、毎朝登校は新班長が連れてきています。少し恥ずかしそうにしてあいさつする班長、堂々と先頭を歩いて大きな声であいさつする班長、それぞれ、今までの班長の後ろ姿を見て、今自分のやるべきことを一生懸命やっているように見えます。このようなところにも、自然と卒業生から引き継がれていることがあるのだなと感じました。

144年目の最後の卒業式

ついにこの日が来てしまいました。これまでの練習で、完璧な仕上がりだったので、安心して当日を迎えることができました。卒業式は厳粛な式、厳かな式ということは、小学生には難しいことですが、延島小学校の子どもたちには、閉校式を経験し、卒業式のようなときにどのような態度をとるべきかということがすでに身に付いているような練習ぶりでした。厳粛という言葉はわからなくとも、どういうことかを何となく感じている子どもたちだと思いました。もちろん、閉校式、お別れ式のために、本校の職員が一生懸命子どもたちの思いを作り上げたことは校長の私が一番よく知っています。すばらしい子どもたちに加え、すばらしい本校の職員であると自慢できます。卒業式では期待通り、卒業生も在校生も立派な態度で式を行うことができました。

◆入場

間隔を十分にあげ、一人ひとり慌てることなく堂々と入場できていました。大変立派な姿でした。

◆証書授与

呼吸おき、その後息を吸って

呼名されてから返事まで、一人ひとりで大きな声で返事をしていました。演台前の中央にたった一人で立っているのに、全員落ち着いていました。子どもたちの動き一つ一つに自然と頷きを入れてしまうほど、よくできていました。証書を受け取る時はしっかりと胸を張り、一人ひとり、私の目を見て、言葉を聞いてくれました。そして、はっきりと「ありがとうございました」を言うことができました。大変立派でした。涙があふれそうでした。

◆式辞

三つの話をしました。

①『卒業番号』について（例年話していること）

・開校は明治6年ですが、卒業番号は明治41年度から始まったこと。世



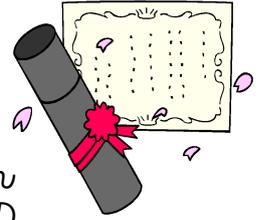
界にたった一つの番号であることと同時に最後の卒業生としての番号であること。伝統ある延島小学校を卒業することに誇りを持つこと。

②『心』について（例年話していること）

・延島小6年間の『心』を育てる『心の旅』は終わりますが、絹義務教育学校でもさらに『心』を育てること。

③『6年生が支えてくれたこと』について

・6年生の各活動での力が、閉校への思い出を盛りだくさんにして、記憶に残るものとなったこと。144年の最後の6年生としてふさわしい活躍をしてくれたこと。



式辞は、子どもたちに延島小学校で校長が伝える最後の言葉になります。真剣に考え、言葉を選んで、思いを伝えました。今回の式辞で卒業生に伝えたいことのも中心も昨年度と同様に『生きる』です。簡単に自分を傷つけたり、命を絶ったりする若者がいる現代社会の中で、強く生きていってほしいと願うばかりです。どんなときにも負けないで自分を自分で支え生き抜いてほしいという思いを子どもたちに話しました。

◆『別れのことば』

卒業生も在校生も真剣に自分の役割の部分の言うことができました。来賓の方々からは、一人でも全員でもこの人数ですばらしい言葉を言えていたとお褒めの言葉をいただきました。歌も少ない人数で大変よく声が出ていて感動的だったと感想をいただきました。

卒業式という行事は、学校の様々な行事の中で最も大切にされる行事です。そして3月に行うということから小学校教育活動のその年の『集大成』となる行事でもあります。この行事内で卒業生も在校生もどのように自分の思いを表現できるか、一年間で育ててきた心が見えるときです。この3学期末を目標にこの一年間を突き進んできました。今回の卒業生の姿、それを送る在校生の態度、保護者の皆様や地域の方々にはどう映ったのでしょうか。学校教育の根幹である、子どもたちの『心』を育ててきたことがあらわれていたのでしょうか。感動して涙を流したり、卒業生に手紙を渡したりする在校生の姿もありました。子どもたちの『育った心』が形になって表れた式になったと私は思っています。

御祝辞をいただいた福井委員様から、「子どもたちの姿を通して、延島小の教育が見える。皆さんは大変立派で、その姿が、延島小の教育の全てを表している。」というような言葉をいただき、式中の子どもたちのすばらしさを褒めてくださいました。ありがとうございました。

記念キーホルダー

『のぶT(のぶしまTシャツ)』の記念キーホルダーが届きました。全児童に渡すことができました。表面には児童名が入っています。『のぶT』とともに大切に使ってほしいです。



自学ノート がんばり

ノートには、表表紙に、「がんばるぞ」という思いが書いてあり、裏表紙に次のノートへの目標が書かれているものもありました。まだまだがんばっています。

1年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん
3年	〇〇〇〇	さん				
4年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん		
5年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん		
6年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん

